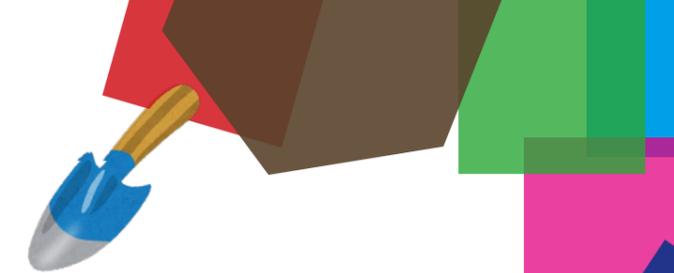


つくってみよう

ミニ★キエーロ



〈材料〉

- プランター（幅500mm×奥行340mm×高さ260mm 容量28ℓ）
- ポリカ波板（縦400mm×横540mm 透明）
- 角材（厚さ12mm×幅60mm×長さ540mm 2本
厚さ12mm×幅60mm×長さ30mm 2本）
- 木ねじ（太さ2.7～3.1×長さ20mm程度 12本）
- 黒土（市販の焼成していないもの 20～25ℓ）

※今回は上記の大きさのプランターを使用しましたが、お好みの大きさで作成してください。また、プランターに合わせポリカ波板、角材をカットしてください。

〈道具〉

- のこぎり（角材のカットに使用）
- カッターや金切りばさみ（ポリカ波板のカットに使用）
- ドライバー（木ねじの取り付けに使用）
- 定規やメジャー、筆記具（ポリカ波板と角材のカットに使用）

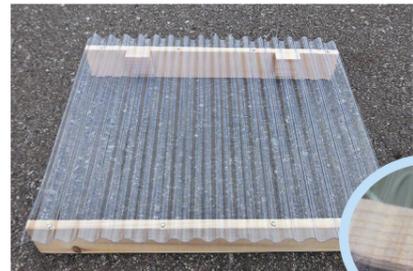


★ポイント★

プランターは深さがあるものをおすすめ！

〈作り方〉

1. 屋根部分を作成する



①長い角材（540mm）1本に短い角材（30mm）2本を両端から10cm程度の位置に木ねじで取り付ける。

②①で作成したものと、もう1本の長い角材（540mm）をポリカ波板の両端に固定する。

※この際、ポリカ波板は雨が流れる方向が奥から手前側になるように設置する。

★ポイント★

木ねじで固定する時は、ポリカ波板と角材に亀裂が入らないように注意しましょう！

2. 屋根部分を取り付ける



1. で作った屋根部分を写真のように乗せ、黒土をプランターに8割ほど入れる。

★ポイント★

屋根部分は空気の通り道を作ることが重要！



完成

〈使い方〉



①20cmくらいの深さの穴を掘り、穴に生ごみを投入する。1回の投入量の目安は最大で500g程度。



②大きい塊はスコップの剣先で突き刺すように小さくしながら、水を加え、生ごみと土をよくかき混ぜる。



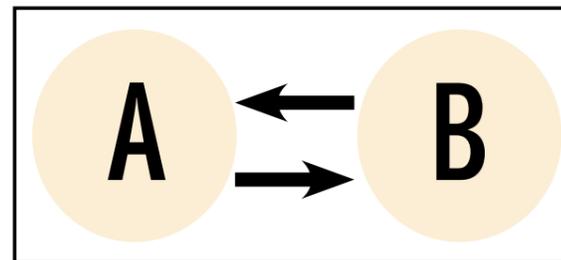
③生ごみが表面に出ないように乾いた土をかぶせ、屋根部分を乗せ、日光が当たる風通しの良い場所に置いておく。

数日後掘り返し、分解されていたら①～③を繰り返す

★ポイント★

掘り返してみて、まだ分解していない場合は、もう一度水を加えて、土とよく混ぜてみよう！

〈生ごみを入れる場所〉



生ごみは左図のように交互に埋めると効率よく分解できます。分解は夏場だと5日、冬場は2～3週間くらいかかります。



★ポイント★

ごみを入れた日にちがわかるよう目印をつけておくと便利♪

〈分解しやすいもの〉

- ・天ぷら油 ・炒め物 ・ドレッシング
- ・パン ・そばやパスタなどの麺類
- ・ご飯 ・お茶や紅茶の葉
- ・ヨーグルトなどの発酵食品 etc

〈分解しにくいもの〉

- ・柑橘類の皮
- ・生野菜の芯、葉、皮
- ・卵の殻
- ・魚の骨 etc

〈ほとんど分解できないもの〉

- ・貝殻
- ・かきの殻
- ・桃や梅の種
- ・動物の骨 etc

市ではより多くの市民にキエーロを体験してもらうため、作成マニュアル及び使い方マニュアルを作成しました。マニュアルは、右記QRコード、市ホームページ、または環境課窓口でも配布しております。ぜひチェックし、ご家庭でお楽しみください。

■問い合わせ先 環境課資源循環係（☎35-1130）



作成マニュアル



使い方マニュアル